

# 京都国公

2019年10月号 月刊426号

## 京都国家公務員労働組合共闘会議

〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30-2ラポール京都BF  
TEL : 075 (801) 7875 FAX:075 (801) 7876  
E-mail:kyoto.kokkou@iaa.itkeeper.ne.jp  
HP:http://kyoto.kokkou.p-kit.com

# 京都国公第71回定期大会開催

# 憲法を暮らしと行政にいかそう はまこそ国民の中へ国民とともに

10月19日(土) 京都国公第71回定期大会がラポール京都において開催されました。大会では、たたかひの総括と向こう1年間の運動方針・財政方針が提案され、満場一致で承認されました。

大会では、全労働の竹内代議員が大会議長に選出され、議事が進行しました。

開会あいさつで豊田・京都国公議長から「先の参院選で改憲勢力を抑えたものの今臨時国会で、安倍首相は『改憲』議論促進に執念を燃やしている。しかし、各種調査結果からも世論は憲法改正を求めていない。拙速にすすませないために声を上げ続ける必要がある。

今年の人勤での非常勤職員(夏季休暇新設を喜びたい。一方で、高齢層職員の賃金抑制や長時間労働、「新たな定員合理化計画」の強行や定年延長など、課題は山積している。組織拡大ともむすんで、この1年大いに奮闘していく」と語られました。

来賓には、国公近畿ブロックの西岡副議長(運輸)からあいさつを頂き、京都国公へのさらなる発展と期待が述べられました。



述べられました。

議案提案では、矢野事務局長より、昨年末から年明けにかけてとりくんだ京都総評「生活実態調査」アンケートへの御礼と、「新たな定員合理化計画」阻止のとりにくみについて報告があり、また、運動方針の提案では、通年活動に加えて『世論に訴える』とりくみとして、行政相談会やシンポジウムの開催などが提案されました。

## 出陣宣言

全国税・石野代議員

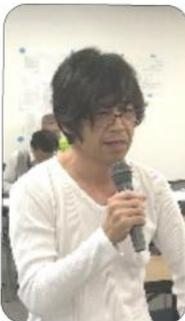
近年、国税の事務のセンター集中化が激しく、来年度の確定申告の会場として上京・西・右京が西陣織会館に設定される。乙訓地域の居住者は申告のため西陣



まで行くことになる。今年度採用された障がい者は、すでに95人が離職した。「採用数」という数値だけに拘って、障がい者の労働環境の整備を怠った当局の責任は大きい。

全労働・川部代議員

定員削減など、公務・公共サービス切り捨ての動きが強まる中、労働行政も「36協定の点検」や労災保険の一部外部委託など、業務のアウトソーシング化がすすんでおり、質の低下から国民の権利を守る運動が必要。



シンポジウムや行政相談の提起があったが、地域からの視点を大切にし、府民を巻き込んだ運動となるよう、全労働も参画していきたい。

## 国公共済学習会を開催します

日時：12月6日(金) 18時45分～  
場所：あるく  
参加対象：各単組の共済担当者  
と希望者



全厚生・北久保代議員

社保庁解体が国民生活に及ぼす影響を「年金シンポジウム」を通じて訴えていきたい。公務員には憲法遵守義務があるが、民間である年金機構には憲法遵守義務はなく、機構内部では、憲法の規定に関係なく業務がすすめられている。



報道でご承知のとおり、年金を75歳まで繰り下げできるよう検討されており、65歳支給を引き上げる危険性が高まっている。

年金の職場では、予約制で年金相談を実施しているが、当局が予約率100%をめざしていることから、飛び込みで相談に来た人はお帰りがたかくことになっており、組合で改善を求めている。

## 風見鶏

この4月に大阪へ人事異動となり京都国公の構成員としての資格が無くなったわけですが、任期中での異動だったため、大会まで議長職を勤めたうえで退任させていただきました。

この4月に大阪へ人事異動となり京都国公の構成員としての資格が無くなったわけですが、任期中での異動だったため、大会まで議長職を勤めたうえで退任させていただきました。国公労連の中央執行委員を退任して職場復帰した一週間後の大会での就任であり、職場復帰してすぐの就任でしたが、皆さまの協力をもって何とかやってこれたと思っております。京都国公議長としては2期勤めたことになりましたが、不十分ながらも6年連続の賃上げや非常勤職員の処遇改善が一步前進したことが印象に残っています。反面、残念だったのは司法の場では全厚生の仲間を職場に復帰させることができなかったことでしょうか。他にも政府が提示した新たな定員削減計画や人勤での賃上げすら意味のないものにしてしまつて住居手当改悪の問題など多くの課題も残されていますが、これらについては後任の方々に委ねたいと思います。▼私ごとですが、大阪では全司法近畿地連副委員長と全司法本部非常任中央執行委員を兼務することとなりました。今後は単組の活動に集中せざるをえず、国公産別運動まで手を伸ばすことは難しくなりそうですが、必要なときには京都でも結果集めたいと思っています。▼もし集会などで見かけることがありましたら京都国公の輪に混ぜていただければ幸いです。▼(豊田)

気象観測も外に出て行う必要があるのに、人員が足りないために他省庁への業務移管や委託化の方向に傾いている。署名活動などに頑張りたいたい。



大規模自然災害が多発する中、気象当局は、近畿で合理化体制を推し進めている。現在、定員削減で1人の予報官が2県を同時に観測を担当しており、正確な予報ができるのか疑問。

国交・気象・佐藤 代議員

定員削減がすすむ中、登記について新たな施策もすすめられる。増員署名にご協力をお願いします。



予約相談の定着には一定の「移行期間」が必要。法務局でも登記相談が完全予約制であるが、導入時、周知がうまくいかず混乱し「移行期間」は概ね10年を要した。

全法務・河井 代議員

大会宣言

京都国公は、本日10月19日、ラポール京都において第71回定期大会を開催し、この1年間のとりくみの総括と2019年度の活動方針を確立した。大会では、憲法改憲を許さず、国民憲政の政治から国民・労働者のいのちとくらしが大切にされる社会への転換を実現するため、国民との共同のたたかいを広げる決意を固めあつた。

安倍首相は、「改憲」促進を自民党の参議院選挙公約に載せ、議席を減らしたにもかかわらず秋の臨時国会での憲法改正に執念を燃やしている。しかし、世論は社会保障の拡充や消費税増徴等を求め、国民は改憲を望んでいない。さらに、国会運営での立憲主義の破壊、編纂の空間化、日韓断絶に象徴される外交の失敗など、国民との矛盾が広がるばかりである。また、森友・加計学園の問題をはじめ、記述文書の改ざん・隠蔽、各種賞金給付の差支等相次ぐ不祥事は行政に対する国民の信頼を傷つけ、私たち国公労働者の『誇り』を踏みにじった。通告するのは、行政を私権化し、人事権と評価権により公務員を『私権化』して国民統制を強化しようとする欺瞞回廊をめざす現政権の本質にある。私たち京都国公は、憲法尊重・擁護義務を負う公務労働者として、また、ひとりの国民として平和と基本的人権を尊ぶ『改憲』に反対し、最後まで改憲阻止に能力を振り、平和を築くためを怠らぬ。

本年6月、政府は、新たな定員削減として定員合理化目標数を各府省庁へ通知し、来年度から向こう5年間で10%以上の国家公務員を削減しようとしている。多発する大規模災害への対応や『働き方改革』など、公務・公共サービスに対する国民からの期待は年々高まっている。しかし、終わりのない定員削減に加え、複雑・困難化する業務、長時間労働の増加により職員の健康被害は深刻であり、現場実態を見れば、政府の定員管理政策が破綻していることは明らかである。また、現場には欠員が放置され高給・昇給が削られるも、公務・公共サービスはソフト・ハードの両面とも脆弱化し、結果として国民のいのちやくらしが脅かされている。私たち京都国公は、憲法に定める国民全体の奉仕者であることを遵守し『国民の権利と安全・安心をまもる運動』を軸に闘争することを確約した。

今夏の人事動向は、月給給・一時金ともに6年連続の引き上げとなったが、全世代の生活改善には不十分なものであった。非常勤職員の処遇改善については、粘り強いたたかひの成果により夏季休暇の取得を勝ち取ることができた。いまだ具体的な内容が示されない定年延長の課題や各種手当の抜本的改善、地域間・世代間の格差是正などを求め、すべての公務労働者が働き甲斐を持ち、安心して働き続けられる職場の実現をめざしてとりくみをすすめる。

京都国公は、安倍暴走政治が推し進める改憲改政労働者・国民いじめに反対する運動等とむすびながら、全ての労働者・国民の生活と権利を守る運動をすすめることと、京都国公の組織拡大を図り、この1年、その実現に向けて全力でたたかうことを、ここに宣言する。

2019年10月19日  
京都国公公務員労働組合共闘会議  
第71回 定期大会



新庄 新議長(厚生)

9月に厚生労働省が公立・公的病院の「再編統合」の「再検証」として、宇多野病院をはじめ全国424の病院名を公表した。地域医療と雇用を破壊するもの。全医労は要請行動など、とりくみを強める。

全医労 / 『文書発信』

京都国公2019年度常任幹事会 役員

役職名	氏名	所属	役職名	氏名	所属
議長	新庄 義弘	全厚生	常任幹事	山田 雅彦	全司法
副議長	草川 晴美	全司法	同上	野村 正志	全法務
事務局長	矢野 芳彦	全労働	同上	津田 長太郎	全労働
事務局長次	欠員	全法務	会計監査	田中 敦	保護観
常任幹事	小林 竜一郎	国交/運輸	同上	川村 元洋	宮内庁

※なお、全医労、国交/建設・気象、全法務へは役員選出を要請中  
退任しました。お世話になりました。豊田 勝利(全司法)、久保 豊(全国税)、畑 保宜(全労働)  
小谷 幸信(全司法)、藤江 成夫(全厚生)、渡辺 由喜子(書記局)

**第8回 京都団結・交流まつり**

日時 2019年11月23日(土・祝)  
開催時間 10時30分～15時(雨天決行)  
場所 六孫王神社 (京都市南区玉生道八条角)

参加協力券 500円

ステージ・模擬店・大抽選会  
など、お楽しみ盛りだくさん!  
お問い合わせご参加ください

2019年度 京都国公 活動日誌/当面の行動日程

開催日	曜日	開催時刻	主催	イベント・行動名	開催場所等
11/1	金	17:45	京都国公共闘	定期総会	ラポール京都
11/2	土	13:00	憲法研究会	憲法研究会	岡山音楽堂
11/6	水	18:00	京都総評	消費税・社保/街頭宣伝行動	四家島六
11/7	木	12:00	全労連	中央行動	東京
11/8	金	**:**	全労連	日本平和大会(～11/9:土曜)	川崎
11/8	金	12:30	京都総評	改憲改政新さんデー	阪急西船場前
11/8	金	18:30	京都総評	改憲未訂争議! 安倍改憲断絶戦車	ラポール京都
11/9	土	10:00	京都府職労連	定期大会	**:**
11/10	日	PM～	京都北部地区労連	いらんちゅフェスタ	丹波文化会館
11/12	火	9:30	京都総評	常任幹事会	ラポール京都
11/13	水	8:15	京都総評	雇止め闘争市役所前宣伝	京都市役所前
11/13	水	18:30	京都国公	常任幹事会	あらく
11/14	木	18:00	京都総評	組織拡大宣伝	阪急西船場前
11/15	金	13:00	国公共闘	債権削減賛成会	東京
11/15	金	18:00	京都府労組連合	総連会	京都府労組連合会
11/16	土	10:00	国公共闘	定期総会	大阪
11/18	月	18:00	京都総評	労働法制・労務支援宣伝	四家島六
11/19	火	18:30	京都府労組連合	改憲法改正/憲法研究会	京都市役所前
11/20	水	18:00	京都総評	消費税・社保/街頭宣伝行動	四家島六
11/21	木	13:00	全労連	国民参画討論会(～11/22:金曜)	東京
11/22	金	**:**	全労連	80周年記念セッション	東京
11/23	土	10:30	京都総評	団結・交流まつり	六孫王神社
11/26	火	9:30	京都総評	常任幹事会	ラポール京都
11/27	水	**:**	国公共闘	秋の闘争行動	東京
11/27	水	8:15	京都総評	雇止め闘争市役所前宣伝	京都市役所前
11/27	水	18:30	全厚生京都	年金改定争議支援共闘会議	西船場・ラポール京都
11/28	木	**:**	国公共闘	日本労働組合総連合会(労働者)の会	東京
11/29	金	10:00	京都総評	労働法制セッション	ラポール京都
11/29	金	12:30	京都総評	改憲改政新さんデー	阪急西船場前
11/29	金	**:**	2019年 日本のお金の未来	(～12/1:日曜)	リーマンシアター京都
11/30	土	**:**	国公共闘	非常勤組合員交流会	東京
11/30	日	**:**	京都国公	定期大会	【メッセージ】

良くても悪くても気になるのが「占い」その一例が語群にあります。イラストをヒントに探してください。最後に残る占いを答えてください。応募の方は、「一言メッセージ」を添えて、ハガキ、FAX、メールにて京都国公書記局まで!! 締め切りは11月末です。正解者の中から抽選にて5名の方に図書券を進呈いたします。

テ ク エ キ キ ヨ ミ  
ソ ウ タ ロ ツ ウ セ  
ト ジ ハ ナ ト ザ イ  
ラン フ オ カ ー ド